



お城山と牛鬼 〈兵頭俊朗〉

うしおに  
〈うしょうにん・ふうやれ〉

南予地方のお祭りで御輿の先導をつとめ、お旅所への道を清める邪気払いの練り物です。

大人30～40人でかつぐ物や子供用の物など大きさはさまざまですが、頭は鬼、胴は牛、尾は剣で、道を蛇行しながらプオープオーと竹螺（たけぼら）を吹き鳴らし軒々に恐ろしげな頭を突っ込み邪悪な物を払います。

尚、南予地方では、恐ろしい物、あるいは、恐ろしいけれど愛嬌のある物、派手な物の代名詞にも使われます。

う わ しまじょう つるしまじょう

## 宇和島城〈鶴島城〉 天守（重要文化財）城跡（史跡）

宇和島城は湾頭の丘陵に築かれた平山城で、慶長年間、藤堂高虎によって築城され、寛文2年から5年にかけて伊達宗利により大改修されたものである。

天守は独立式で3層3階本瓦葺、白壁の総塗ごめ造りで荘重である。正面最上層の屋根に唐破風、二層に大型の千鳥破風、その下に二つの千鳥破風を並べ、最下層にこれらの総てを受けた玄関に大型の唐破風がある。これらは各層の屋根とよく調和して、美しい姿と安定感をもち、江戸時代初期の貴重な天守となっている。なお、上り立ち門（市指定）や二の丸・藤兵衛丸・長門丸・代右衛門丸などの石垣遺構もよく保存されている。